



しらがが生えるのはどうして

かみの毛の色を決めているのは

かみの毛の中には、メラニンという色素（色のつぶ）が入っています。

かみの毛の色を決めるのは、かみの毛の中のメラニン色素と空気の量です。

黒いかみの毛には、このメラニン色素がたくさん入っています。メラニン色素が少なくなるにつれて、黒からかっ色、くり毛、金髪になっていきます。

年をとると、しらがになるのは

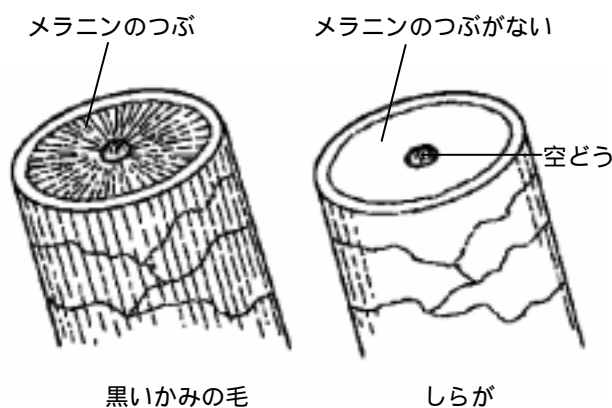
かみの毛は、皮ふの下にある毛根の毛乳頭でつくられます。毛根の毛乳頭がメラニンをつくらなくなることがありますが、このメラニン色素がどんなに少なくなっても、かみの毛はうすいとう明に見えるだけで、決してしらがにはなりません。

かみの毛は、細胞やたんぱく質でできています。年をとるとか何かの原因で、かみの毛

の中心部分の、この細胞やたんぱく質が少しずつぬけ落ちていき、毛の中心部分が空っぽ（空どう）になって、そこに空気が入り、しらがになります。

つまり、しらは、メラニン色素がなくなっていく、かみの毛の中心部分の細胞や、たんぱく質がなくなって空どうができ、そこに空気が入ることによってできるのです。

しらががきれいに光って見えるのは、毛の中に入っている空気が、光を反射するからです。（監修・保志 宏）



黒いかみの毛

しらが

